

# 紀の川市中学校部活動地域連携・地域移行 推進協議会

令和7年10月17日（金）に第6回紀の川市中学校部活動地域連携・地域移行推進協議会が開催されました。

前回の協議会で委員の皆様からいただいた意見を参考にして、「中学校部活動地域展開に係るアンケート」を実施し、その調査結果をもとにこれからの紀の川市の学校部活動と地域クラブ活動のあり方を熟議しました。委員それぞれの立場からの視点で、多様な意見が出されました。

実効性のあるものにしていくために、以下のようなことが話し合われました。

## 推進協議会の様子



## 【主な議論の内容】

### ○アンケート調査結果から見えるキーワード ～負担感、指導の質の担保～

〈児童生徒〉仲間づくりからのスタート。取り組んでいく中での競技力向上。

〈保護者〉拠点校制度については、送迎面の悩み。

〈教職員〉ワークライフバランスに重点。

〈関係団体〉地域展開に協力意識は高い。実際はどこまで可能か。

### ○地域クラブ活動に関する認定制度（イメージ案）

・紀の川市としても、既存の地域クラブ、これから設立される地域クラブについて、丁寧な議論をしながら認定制度の活用も視野に入れる。

・認定制度を活用する地域クラブについては、広域からの生徒募集をしないこと、競技力向上のみに偏ることのないようにすることが望ましい。

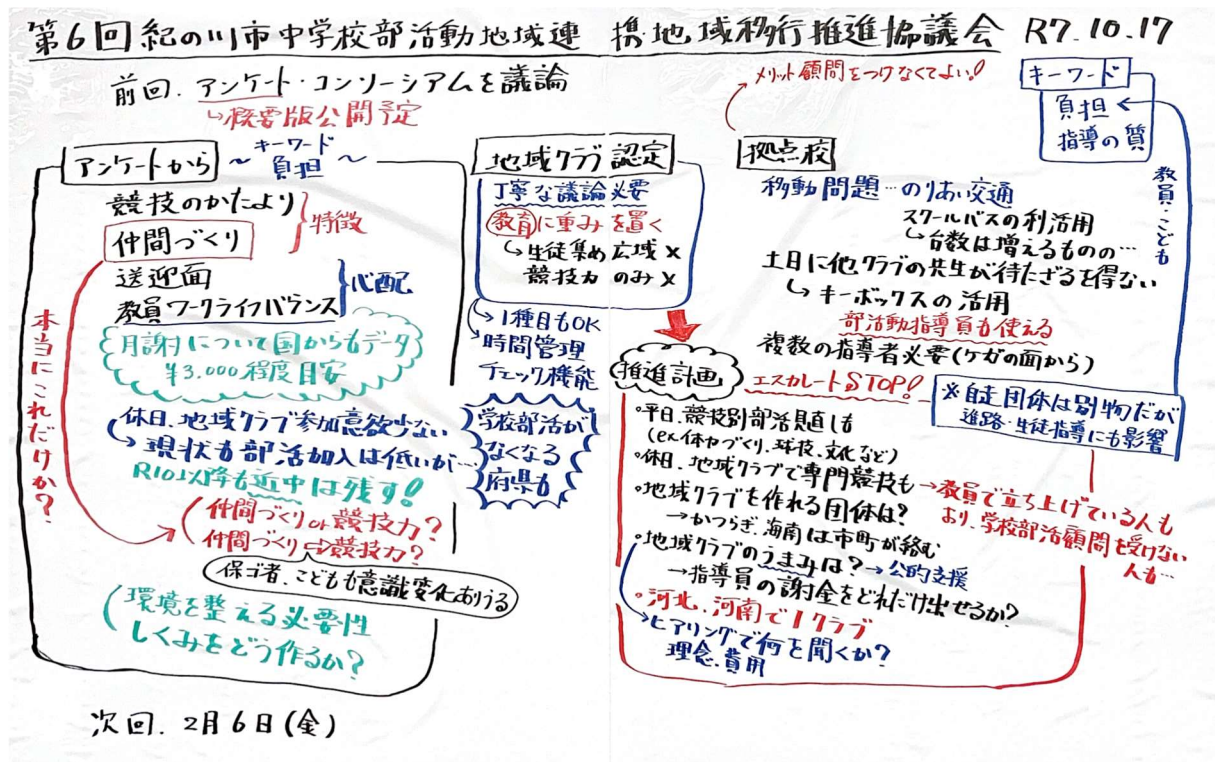
## ○拠点校制度、部活動指導員

- ・アンケートから生徒の移動に負担感を感じる保護者が多く、現時点では「紀の川デマンド乗合交通（のりのり交通）」を活用するとともに、保護者の協力も必要と考えられる。
- ・休日の部活動指導員による指導の際に、練習場所の鍵管理、突発的なけがへの対応等、教職員を含めた複数の目が必要ではないか。

## ○紀の川市部活動地域展開推進計画（仮称）策定に向けて

- ・根本的な部活動のあり方を見直す視点も必要。
  - 平日の部活動を、競技主体ではなく、体力づくり・レクリエーション・球技等といった視点から再考するのはどうか。
  - 休日の部活動を、地域クラブ活動として、競技力向上や競技を通じた仲間づくりをしていくのはどうか。
- ・地域クラブ認定制度を活用していく際に、地域クラブに対してメリットは何か。
  - 公的支援が必要。

## 【議論の見える化】



次回（第7回紀の川市中学校部活動地域連携・地域移行推進協議会）は、今回の委員の皆様のご意見を参考に、「紀の川市部活動地域展開推進計画（仮称）【案】」について、2月頃に協議する予定となっています。